



■ になりたい自分をデザインする ～モテ男(お)くんづくり～

こんにちは。いつも司会などで登場しておりますカトリーヌでございます。改めましてご挨拶を兼ね自己紹介をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

本業はインテリアデザイナー・インテリアコーディネーターとして「人は環境によってつくられる」を理念に住まいづくりをしています。他には、男性の見た目を引き上げる“モテ男(お)くんづくり”もしております。家づくりの人間が何故そのような事をしているのか?そもそも“モテ男くん”って?とよく質問をされますが、今回はその話をさせていただきたいと思います。

私は長年、住宅の新築やリフォームに関わる中で、ライフスタイルを含めた提案をするようになりました。一例としては、クローゼットをつくり付けで製作する延長で、クローゼットの中身ごと提案するといった事を付加価値として行っています。(それぞれ人に“似合う・どう見せたいか”に合わせた洋服や小物等を選定・提案しており、その効果は無駄なスペースや無駄な物がなくなり効率良いクローゼットをつくる事などに繋がります。)そうした中で、私の仕事は「家」と言う単独をつくっているのではなく、「環境づくり」のお手伝いであると気づきました。数年前からは環境づくりをキーワードに、人自身の環境を整える事にも力を入れるようになり、そのひとつとして、個性を活かしながら男性を格好よくする“モテ男くんづくり”をしています。



さて、“モテ男くん”と言うと、世間的には“女性にもてる男性”と言うイメージを持たれることが多いと思います。ですが私が考えるモテ男くんの定義は、一言でいえば“人たらしの男性”です。(女たらしではありませんよ、決して。)男女、老若、関係なく人にモテる。人間性の良さと共に“マナーは相手に不快な思いを与えない事”と心得ており、自分の外面にも気を遣える人(完璧を求めているのではなく、このように意識を持っているか否かが大切、という事です)。

ところで、“人は見た目9割”と言われて久しいですが、見た目はその人全てを物語ると言っても過言でないほど重要です。心理学者メラビアンの法則で人が与える影響は、言語情報は全体の7%、外見情報は93%と言う結果が“人は見た目9割”と言われる所以です。人は長年培ってきた内面を変える事は容易ではありませんが、それに比べてまだ外面の変化は容易です。人は“何を”話すか以上に“誰が”話すかが重要。“誰が”の要素となる見た目を整えるお手伝いの一つとして“モテ男くん”づくりがあります。

具体的な内容としてはウォーキングレッスンを行っており、その名を“モテ☆ウォーキング”と名付けています。当初は似合う洋服の提案にとどまっていたのですが、洋服を纏う軸(体)が大事だと実感したため、ウォーキングに力を注ぐようになりました。モテ☆ウォーキングは、モデル歩きをするのが目的ではなく、“正しい姿勢で歩く”を目指すことを本来の意味としています。人生100年時代が目前の今では、生涯自分の足で・自分の意志で・自分の行きたいところへ・自分の会いたい人に会いに行けたらカッコイイよね!と、心身の健康面からみた意味合いに変化しています。



TV放送演説の見た目を意識して戦略を考えた、ケネディ35代目アメリカ大統領の話はあまりにも有名。 出典:フリー画像より



モテ☆ウォーキングBefore/レッスン前の歩く様子。歩幅が小さく、膝が曲がり脚が伸びていない。歳を重ねるにつれ、転倒しやすくなる恐れも。



モテ☆ウォーキングAfter/レッスン後の歩く様子。歩幅が大きく、膝・脚が伸びている。背筋も伸びて堂々として見える。カッコイイ。

一般的に若い頃のカッコイイとは、パーツやバランスの良さを指しているところが大きいと思いますが、年齢を重ねたカッコイイは、トータルでどう魅せられるかだと思います。自分の外面に自信が持てはじめたら、服装・持ち物・身のこなし・人への接し方・など、とりまく環境全てに変化が起こります。外面が変われば人から受ける接し方が変わり、内面が変わるきっかけにもなります。なりたい自分をデザインし、なりたい自分になった人生は、とても充実したものだと思います。

最後に、なぜ男性限定かと言えば、身近な男性が“モテ男くん”であれば女性(私? 笑)が嬉しいから。夫やパートナーが“モテ男くん”であれば、家の中で女性(母親)が嬉しい。それは家庭内が明るくなり、子供たちが嬉しい。

「人は環境によってつくられる」は私の住まいづくりの理念です。

参考:カトリーヌ流 モテ男くん定義 HP 

